

「当院から救急患者連携搬送後における再転送となる要因の 検討：ケースコントロール研究」 について

加古川中央市民病院 救急科では、現在、救急患者連携搬送、いわゆる「下り搬送」を受けられた患者さんを対象に表題の研究を実施しております。

この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

〔研究概要及び利用目的〕

近年、地域の救急医療体制において急性期病院の病床逼迫が課題となっており、2024年の診療報酬改定では救急患者連携搬送、いわゆる「下り搬送」を評価する「救急患者連携搬送料」が新設されました。本研究では、当院から下り搬送された患者さんのうち再転送群と非再転送群を比較し、その原因および関連因子を検討することを目的とします。

〔研究期間〕

この研究は、病院長承認日～ 2031年3月31日まで行う予定です。

〔取り扱うデータおよび試料・情報の項目〕

2024年6月1日～2025年6月31日までの期間に救急患者連携搬送、いわゆる「下り搬送」を受けられた方の下記情報を診療録より取得いたします。

- ① 基本情報：年齢、性別、既往歴（CCI：チャールソン併存疾患指数）、qSOFA NEWS score、CFS、FOIS

*CCI；Charlson comorbidity index

Charlson らによって1987年に提唱された、死亡に寄与する併存疾患を評価し、そのスコアの合計を点数にした指標であり、短期的な死亡リスクと相関があるとされる。

qSOFA：quick Sequential Organ Failure Assessment

初療の現場で一般臨床医が敗血症をスクリーニングするためのツールとして、提唱されたもの

NEWS2 score：The National Early Warning Score 2 の略

急性疾患の評価と対応を標準化するツールとして2017年に提唱された

CFS：Clinical Frailty Scale の略

2005年にカナダの臨床研究で開発されたスケール

全体的な健康状態のスクリーニング、「虚弱」の程度を評価するためのツール

FOIS：Functional Oral Intake Scale の略

経口摂取状況についての評価方法で、Level.1「経口摂取なし」から Level.7「正常（制限なく通常の食事ができる状態）」の7段階からなる

- ② 疾患情報：

初期診断・病態：主要診断名

下り搬送時の状態：バイタルサイン、血液検査結果（CRP、Alb、Cre 等）

当院で施行された検査や処置内容（画像検査、輸液

抗菌薬投与、輸血など）、酸素投与の有無

- ③ 転院の経緯：救急外来からの転院の有無、入院から転院までの日数、転院先病院名

- ④ 再搬送後の状況：転院から再受診までの期間、再受診時の主訴、診断名

再受診時 NEWS score、再受診時 qSOFA
ICU/HCU 入室の有無、転帰（自宅退院・転院・死亡）

[個人情報保護の方法]

研究実施に係る試料・情報を取扱う際は、個人情報とは無関係の番号を付して、研究対象患者識別番号リストを作成して、匿名化を行い秘密保護に十分配慮します。研究成果を報告する時も個人が識別されないように行います。この研究に参加していただいた患者さんの個人情報については、本研究に関わる全ての研究者が守秘義務を順守するように徹底いたします。個人情報を外部機関へ提供することはありません。患者さんの個人情報は研究責任者が責任をもって保管します。

[試料・情報等の保存・管理責任者]

加古川中央市民病院 救急科 責任者氏名：河合 嘉一

[データおよび試料提供による利益・不利益]

利益：通常診療の情報をういており、データをご提供頂いた患者さんの個人には特に利益になるようなことはありません。

不利益：診療録からのデータのみ利用するため特にありません。

[登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて]

本研究において取得したデータ等は、研究期間中は加古川中央市民病院において厳重に保管いたします。研究終了後も少なくとも本研究の終了報告日から5年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過したいずれか遅い日までの期間、当院内のデータベース内のみで管理し、プリントアウトや外部持ち出しは行いません。患者さん及びその家族等から研究参加辞退または同意撤回の申し出があった場合には、その患者さんに関するデータはすみやかに廃棄します。

[研究成果の公表について]

研究成果は学術目的のための論文や学会などで公表されることがありますが、その際も個人を特定できる情報は公表いたしません。

[研究へのデータ使用の取りやめについて]

いつでも可能です。取りやめの申し出を受けた場合、それ以降患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかし、同意取りやめの申し出された時点で、すでに研究成果が論文や学会などで公表されていた場合は廃棄できませんのでご了承願います。

[問い合わせ窓口]

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 救急科
研究責任者名 河合 嘉一
連絡先：079-451-5500